第23期 KSPビジネスイノベーションスクール 開校式

僕が、起業から学んだこと

2014年6月20日

株式会社ボルテージ 会長・ファウンダー

津谷祐司

自己紹介

津谷祐司(つたに ゆうじ) 51才

- 1963 **福井県** 生まれ。繊維工場の長男
- 1985 大卒後、**博報堂**へ入社
- 1993 **29才** 米国留学。 **UCLA映画学部** 大学院
- 1999 **36才** **コンテンツ起業**。 **ボルテージ**設立
- 2000 対戦ゲームで、受賞。 **3億円**を得る
- 2010 **47才** **マザーズ**上場。翌年、東証一部
- 2012 **サンフランシスコ**に、子会社を設立
- 2013 **50才** 家族と米国居住。

ボルテージの紹介

15期

売上: **100億円** 営利: **5億円**

スタッフ: **500人** (恵比寿 450人 名古屋 20人 サンフラン 30人)

特徴

主力: 若い女性向け「**恋愛ゲーム**」

「Fast50」**8年連続** 受賞 (史上最長)

トップ画面

メニュー画面

ゲーム画面

お前のごと、本気になってもいいか？

1. 起業の経緯
2. 企業ビジョン
3. 起業当初へのアドバイス
4. 米国で会社をつくる
5. 起業する、という事

その1

起業の経緯

広告での学び

22才 職業ビジョン

「アート&ビジネス」

博報堂「広告づくり」

ただし、CMでなく、地味な店頭広告・・・

- ・最初のアイデアは、プロ/素人で大差ない
- ・ものづくりは、「コンセプト」=軸を持って
- ・勝つ企画は、「お客の悩み」から
しかし、お客は自分を知らない

数、出せ! 光は自ずと見える

軸ハズレは、捨てる!

ヒントは、現場を探れ!

24才 競合コンペに、大勝利!

博報堂で初の恒久パビリオン。製作費30億円

ただし、原子力のPR館・・・

賛成一理/反対一理

[広告の限界]

テーマ(商品)は、他人から与えられる。

“**テーマ**” そのものを、自分で作りたい!

29才 UCLA留学「映画づくり」

2年連続、不合格 → 400本映画観る、300万円自主映画

いきなり、**大きな壁**にぶつかる

広告

1作目が**失敗!**

上っ面のストーリー

2作目 外界より

「自分の弱み」

を掘り下げる

アート

感動させたい

人は、なぜ、ストーリーに“感動”するか？

主人公の切ない願い

懸命に頑張る！ 犠牲を払っても、大切な人を助ける！

恋愛 & 戦い

34才 博報堂「社内ベンチャー」

事業計画書が一枚も書けない・・・

起業スクールで、**事業戦略**を学ぶ

もの作り=

企画

<

事業

=もの作り
+売る

作って、売って、「お金を稼ぎ」たい!

独立起業

36才 映画で稼げるか？

ボルテージ設立 借金・社員1人

映画は拒絶され。バイトのはずの、携帯ゲームが...

MCF特別賞 で取材殺到!

資金3億円が集まる。

ところが...

4期連続の赤字

ヒットの出し方が
分からない...

成長率が

国内 **16位**・41...**28位**

[日本テクノロジーFast50]

8年連続 受賞!

80.6億

100億
(予想)

売上

利益

その2

企業ビジョン

ボルテージの軸は？

「アート & ビジネス」

便利系はやらない。

感動した!
をつくりたい

ヒラメキ頼りじゃ一発屋。

ヒット**連発!**
の**仕組み**をつくる

「恋愛と戦い」

遺伝子
男女・同僚
支え合い

現代人が求める

幸せ
の両輪

新しい価値
仕事・学業
切磋琢磨

感動のドラマ

その3

起業家の卵への アドバイス

全力で、広げよ!
そののち、絞り込め!

カッコいい着眼力など、無い。失敗の山を築け!

やれることは、**全部やれ!** ただし、「小さく」始める

UCLA 3.5年

映画 翻訳 ビデオ出版 CM請負 ゲーム

結論:「ハリウッドで映画監督になる」は、ムリ

復職 2.5年

長編脚本 社内ベンチャ 専門ライタ 個人事業 自分サイト

結論:広告会社で「クリエイティブ起業」は、ムリ

起業 4年

まだ、赤字

結論:男性ゲームはムリ、女性・恋愛は○

如何に、赤字を脱出した？「なぜ、儲からない！」

残り7000万円。儲かっている他社は、何してる？

「着メロ・待受」

「ドコモ」

プライド
こだわり

何とか、映画的
なものを！逃げ？

「物語」以外は、
諦める

成功者を
マネる
女性・恋愛で

勝負！ オフィス・人員を倍増！ 着メロヒットで、赤字脱出。

ついに、
失敗の山から、
「自分と社会の接点」
を見出した

さらに100億へ、広げ・絞る

売上2億円

着メロ中心に、女性・恋愛路線

着メロ 待受け 携帯小説 占い 診断

着メロ 4年

20億円

2008年:着メロの時代は終わった。

「恋ゲ1本」に絞り、ダントツ化させる!

恋愛ゲーム 6年

100億円

2000万人の「新ジャンル」確立!

今、スマホ・米国・男性、に挑戦中

成功の第1要件は、熱量! エネルギー! ジョブズも失敗の嵐

なぜ、小企業は事業範囲を絞るべきか？

F・W・ランチェスター

1. ランチェスターの法則

第1法則

攻撃力 = 兵力数 × 武器性能

接近戦

損害は1対1

一騎討ち

弱者の戦略

第2法則

攻撃力 = 兵力数の2乗 × 武器性能

遠隔戦

攻撃力は二乗比

近代兵器

強者の戦略

2. 自社の資源は、有限。

- ・アレもコレもやっては、力が分散する。
- ・戦略とは、何をするかではなく、何をしないか。

戦略とは？

差別化ポイント & 回収エンジン

一番、役に立った話

—ベンチャーを見極める時、どの部分を見るんですか？

差別化ポイント（＝競争戦略 by津谷）

差別化できているビジネスモデルかどうか。
決定的な差別化要因がないと、競争になった時に規模の大きな企業が勝つので、小規模のベンチャーは生き残れません。
また、たとえ差別化されていても、他社が真似しにくいかどうかも重要です。
儲かるビジネスは、必ず真似する会社が現れますから。

津谷 ランチェスターの法則とも、整合する。
***「商品」で差別化する。販売方法では差がつかない**

こっちを⇒
考えない人
が多い

回収エンジン（＝成長戦略 by津谷）

ビジネスモデルに加えて、資金の回収エンジンがあるかどうかも大事です。
どんなにそのビジネスモデルが画期的でも、お金を回収する仕組みがなければうまくいきません。

津谷 回収エンジンとは、「どの市場を狙うか」という事。
ただし、新しい回収の仕組みを、1社では作れない
***新技術（iモード・スマホ等）法改正（ネット薬販・派遣）の波に乗る**

時代と共に、移り変わる

社長の時間割

ネットより

社長の役目

競争相手の情報を集め、主力商品を決め営業地域を決め、流通経路を決める
全社的な営業方法とお客さんの維持方法を考える。

組織（役割分担）を決め、資金を配分し、生産能力、仕入先を決める。

これらを、

経営計画書にまとめること。

結局、どうすりゃいいの？

学ぶほど、混乱。 どの本も、言う事が違う!

どれが最も重要か???

競争戦略

成長戦略

ビジョン

商品

差別化
ポイント

販売

営業

回収
エンジン

組織

4P

新規客

リピーター

3C

全て重要。ただ、「**経営の全体像・順**」を理解せよ!

経営の全体像 & やる順序

売れる商品ができる → 潜在量を売切ろう → 作る・売る人を増やす

他社に打ち勝てる、「自社の強み」を築く

1

ターゲット(若女)を絞込む
恋愛ドラマに特化

商品

販売

組織

2

最適PF・回収率

ビジョン

数値目標

競争&成長 戦略

組織 オペレーション

3

全員が「ノウハウ整備・計画」「G-PDCA」

経営は、皿回しの如く

ひとつを廻す(上げる)と、**相対的に**他が下がる。

「一辺に全部」は無理。あわてず、**順に**、手を付ける！
一周したら、次周へ

あえて、お金の話。 起業は、きれいごとじゃない

起業時の自己資金

1500万円

貯金200万、借金1300万

この2年 時価総額×シェア

10～50億円

5年後の予想

1～1000億円

10年で
100倍
～300倍

成功確率

起業家の場合

0.3% = 1000に3人

生存期間 1年=40%
と確率 5年=15%
10年= 6%
20年=0.3%

20・30代の起業家10万人中、300社は20年生存

プロ野球選手の場合

0.01% = 1000に0.1人

高校野球部 7.5万人
甲子園出場 600人=0.3%
プロ野球選手 80人=0.1%
* 年間のドラフト契約数
一流選手 8人=0.01%

漫画家の場合

0.05% = 1000に0.5人

アマチュア 20～30万人
プロ漫画家 5000人=2.5%
* 1年に単行本を発行した人数
平均年収 280万円
一流漫画家 100人=0.05%
* 平均年収 7000万円

仕組みをつくる 人を、動かす

会社は、家族でも学校でもない。
人が最も難しい。

答えに窮した、社員からの質問

**要は、真剣に
考えてない!**

リスクがないから
決定権がないから

「良いものを作れば、売れるはずですよ!」

- **深層心理**（悪気はない。会社員時代、僕もそうでした）
 - ・「どうしたら売れる? 良いものって何?」を、追及するのは面倒。
 - ・「会社の金」で「自分が作りたいもの」を、作りたい、だけ。

□ 今なら、こう答える

- ・良いものを作れば売れた時代は、20年前に終わった。
- ・飽食からニーズを引出すには、顧客細分・不満分析が不可欠。
- ・ほとんどの商品は、数に埋もれており、手に取ってもらえない。
- ・試し実感してもらうには、知ってもらう努力=良い広告が、不可欠。

「やる気アリ! 何をやればいいのか教えて下さい」

「モチベが上がりません」

「**借金で夜中にガバツ!**」の真剣さまでは持たなくとも・・・

若手社員に火をつける「PDCA会で発表」

どうやって、**本気**にさせるか？

給料や役職を上げる、ではなかった。

アピール枠

90秒

A4一枚

彼・彼女が欲しいのは、「**私を魅せる!**」場

PDCA訓練のつもりが、やがて、結果アピール、失敗披露の場に。

アイデア vs 仕組み

大切なのは、
「時を告げるのではなく、時計を作ること」

画期的な「一発アイデア」ではなく、
次々と「アイデアが湧く仕組み」を作る!

*コンテンツ会以外にも・・・
アイデアは、制約がないと出ない

「マニュアル・フォーマット」を
「全社プロジェクト」で
3年かけ、30本整備

アイデアは、圧力がないと出ない

「年間計画・Q計画」
100頁を全社に発表

メカニズムに分けて、考える

「**残留率**」が悪いのに、「アクセス」を頑張っても、**意味がナイ**

1. 重要KPIは、「見える化」する。
2. 施策の成否を、「リアルタイム/定例会」で判断。
3. 駄策はストップ、良策は横展開!

これを、実直に繰り返すのみ

その4

米国で会社をつくる

13年目の変化

ボルテージ 1年前の危機

8年間の成長が、急に下がり始めた!

何か、とてつもない変化が起こっている!

過去13年を振り返った

	1999年	2004年	2006年	2012年
	iモード	3G/アプリ	SNS	スマホ
回線	2G	3G	3.5G	3.9G/wifi
端末	白黒	カラー	大型画面	ストリーミング動画
PF	キャリア公式	キャリア公式	ソーシャルPF	OS系PF
コンテンツ	着メロ	着うた	着うたフル ソーシャルゲーム	アプリゲーム

5年後は？

何が、最大の変化なのか？

端末が大変化 ⇒ 競争は、全業界・世界に!

ケータイ時代

TV・PCの対抗馬

移動性・ネット対応に強み。

スマホ時代

TV・PCと同一化

違いは、大きさだけ。

最大の変化は、「ゲーム支配者」の交代!

英語版を作る

全米で紹介された、日本のアプリ事情

上映 2.5分

NHKワールド「海外ニュース」&「ボルテージUSA」紹介

日本向け

米国向け

ボルテージUSA

世界的ヒットも出始める

2013年、「My Forged Wedding」は、
AppStore(エンタメカテゴリ) 売上ランキング(週間)

44ヶ国で1位!

「ボルテージ」の売上は、GooglePlay(非ゲームカテゴリ)で、

4ヶ月連続、世界6位!

サンフランで会社を 立ち上げる

オフィスは何処？ 意外に、重要

オフィス立地で、社風、採用効率が10倍違う！

SF・SOMA

都会、独身、コンドミニアム、電車

Twitterオフィス

Silicon Valley

田舎、ファミリー、一戸建て、車

Googleオフィス

エンタメ企業が多い

OS・ハードウェア企業が多い

その5

起業する、ということ

シリコンバレーは、再び、ゴールドラッシュ！

ハイテク従事者の64%は、 外国生まれの移民一世！

「シリコンバレー発 ビジネス最前線」

インテル、イーベイ、ペイパル、ヤフー、グーグル、サンマイクロシステムズ(現オラクル)、NVIDIA、Juniper Networksやインスタグラム。

これらベイエリアにある有名企業に共通することが一点あります。創業者(若しくは共同創業者)が、外国生まれの移民一世だということです。

出所: シリコンバレーと移民
ジェトロ・サンフランシスコ・センター 次長(BIC担当) 中園 雅巳

まず、100億円

事を起こす
人間は

志

高く持つべし

小成功で満足しない

大勢に、インパクトを与える。世界を変える!

まず、100億円を、本気で目指せ!

原点、「UCLAへの留学記」を刊行

MBAだけじゃない。「クリエイティブ留学」のススメ
お金じゃない。「好き」を追求すると、人生は拓ける

□はじめにより

映画、音楽、美術、建築、あるいはデザイン、CGなどのデジタルクリエイティブ。

思いのままに作品をつくり、人々をうならせ、まともな暮らしができるお金を稼げるようになりたい。

そしていつの日か、大きなヒットを飛ばし、手に入れたお金を作品づくりに投じ、世界を飛び回っているような体験をしてみたい——。

僕もそんな若者の一人だった。

では、どうすればそんなことが可能になるのか。

今また、映画と米国に**再挑戦!**

自分の**チャレンジ**、頑張ってください!